



よし だ つ う し ん

吉田通信

第60号
【2019年9月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆新卒採用の活動が実を結んでいます！◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第60号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、以前、吉田通信第55号（2019年4月）でこんなことを書きました。「私たちは今、新卒採用に力を入れております。採用難と言われて久しく、完全な売り手市場で学生を新卒で採用することの難しさをここ数年痛感しております。とくにこの春入社の新卒に関しては本当に難しく、3月になってやっと一人、若手をぎりぎり採用できたというのが現状です。それでも、なんとか今年も途切れず採用できたことを嬉しく思っております。そして、来春入社の新卒採用活動がすでに始まっているわけですが、そのためのチームを作りました。昨年入った男の子と、一昨年、それからその前の年に入った女の子の計3名、年齢的にも学生に近いその若手3名が、通常業務と兼務ですがチームを組み、さっそく合同企業説明会にも出ております」と。

そして、そのチームを組んでの新卒採用活動が、さっそく実を結んでおりまして、8月の段階で、すでに3人に内定を出すことができました。どうもありがとうございます。

ちなみに、私自身も面接をするのですが、採用をするにあたって重視しているのは、雰囲気と言いますか、感じの良さです。それが作られたものではなく、素としてそれを持っている人なのかを重視しています。それは、お客様と接する仕事だからというのは当然のこととしてありますが、何より、いっしょに働く仲間になるからです。だから、面接では「いっしょに働きたいと思えるかどうか」を見ています。能力や才能といったところは、重視していません。素直さがあれば、研修等で仕事に必要なスキルは身に付けることができます。ただ単に学歴が良くて優秀な人よりも、「いっしょに働きたいなあ」と思える人に内定を出しています。

人口が減り続ける日本。外国人労働者でというのは、私たちの業種では、なかなか現実的ではありません。まだまだ採用難の時代は続くと思いますが、会社の未来のために、力を入れて毎年の採用を続けていきたいと思っています。



◆発行者コラム◆

今回もまた、最後までお読みいただきましてどうもありがとうございました。さて、先日、九州のお知り合いの方に新潟の枝豆を送ったところ、「地元で食べる枝豆と全然違う！美味しい！」と、お褒めの言葉をいただきました。実は、私自身も枝豆は大好きで、この夏も夜ご飯のときに、まるで主食のように食べ続けていました（笑）。今年の枝豆は、とくに甘くて美味しかったような気がしています。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史